

高齢者等の生活を支える

第2回

実践型

オンライン応募説明会開催！

日時：7月20日（月）

17:00～18:00

申込方法：別添ご案内の

QRコードからフォームにアク

セスしてお申込みください。

地域づくり人材育成プログラム 参加市町村募集

要支援者等の介護予防・生活支援の充実に向けて成果を挙げたい市町村へ

- 総合事業、生活支援体制整備事業、地域ケア会議——
制度移行に伴い、やるべきことはやってきた。
- でも、何かが変わっているという実感が得られない。
- 自信をもって事業に取り組めるようになりたい。

こんな「漠然とした不安や悩み」を抱えている方は、ぜひご参加ください。

地域包括ケアの推進に向けたプログラムです

全5回
のプログ
ラムで…

わかるだけでなくできるようにするための「実践型」

- ・講義やワークを通じてわがまちの課題を検討
- ・講師・アドバイザーの伴走の下、解決に向けた現場での実践
- ・実践結果に対する毎回のフィードバック

プログラムで得られる効果

昨年度の全受講者が
「期待以上」と評価！

- 1 課題に取り組む考え方方が身につく
- 2 地域の目指す姿・取り組むべき課題がみえてくる
- 3 地域内・外に仲間が出来る

実施主体



藤田医科大学

NTT DATA

株式会社 NTTデータ 経営研究所

協力機関 豊明市

プログラムの主な特徴

参加市町村の地域づくりを伴走支援

プログラムでは、講義を受講するだけではなく、わがまちでの実践（フィールドワーク）と講師・アドバイザーによるフィードバックを繰り返します。わがまちの課題に向き合いながら、地域づくりの普遍的な考え方・アプローチを習得することを目指します。



オンラインを活用した効果的なプログラムを実施

プログラムはオンラインによる参加も可能です（オンライン参加人数に制限はありません）。関係者も一緒に参加いただき、チームづくりや課題の検討などを一緒に進めることができます。また、オンラインコミュニティにて、講師陣や参加者間の情報交換ができます。

地域づくりの現場から生まれた実践的なカリキュラム

地域包括ケアの先進的取組を行う藤田医科大学・豊明市の全面協力の下、地域づくりにおける哲学・考え方、医療介護関係者と連携した地域課題解決のプロセスについて学びます。

(参考) 地域包括ケア「豊明モデル」けやきいきいきプロジェクト

<https://www.mhlw.go.jp/content/12600000/000361948.pdf>

全国の市町村・講師陣とのネットワーキング

グループワークなど、講師や他市町村からの参加者との親睦を深める機会を提供します（オンライン開催の場合も実施予定）。昨年度参加者のネットワークコミュニティの皆さんとの交流も企画します。



地域内外に
支え合う仲間・戦友が
できました！

昨年度のネットワーク・コミュニティ（成果報告会後の懇親会より）

昨年度参加者の声

「現場」に赴くことの重要性。
実際に自分が目で見て、肌で
感じ、生の生きた声を聴くこ
との重要性を痛感した。



津市
高橋 明さん

このプログラムは絶対に何かアク
ションをしないといけない。かな
り追い込まれるので、それが良
かったと思います。徹底的に講師
陣に教えてもらい、かなり身につ
きました。



安城市
田中 由佳さん



熱海市
國原 昭直さん

- ①物事を深く考えることの大切さを学ぶと
同時に、迷った時に立ち返る「原点」を得たこと
- ②それを共に学んだ仲間を得たこと
このプログラムに参加して、ふたつの大きな財産を得ることができました。



大台町
橋本 直子さん

課題を発信・共有する
ことで、協力体制が広
がった。

プログラム（予定）

《全5回》

※藤田医科大学による「Withコロナ/Afterコロナの対応について」の特別講義も検討中！

回	日程	場所 (予定)	プログラム構成 ※実施形式（予定）○：対面 ◇：オンライン ◆：フィールドワーク
1	9月14日(月) 9月15日(火) ※ 9月17日(木) ※ ※午後のみ	オンライン	<p>これからの地域包括ケアのあり方 ◇基調講演：未来の地域包括ケアに向けてプログラムで学ぶべきこと ◇基調講演：先進的地域包括ケアの実現に向けた取組</p> <p>「ふつうに暮らせる幸せ」を支えるとは ◇ケーススタディ：藤田・豊明モデルの根底にある行動原理 ◇講義：基礎自治体職員の役割</p> <p>ひとりの暮らしから、地域の課題を考える ◇講義・ワーク：個別事例から暮らしの課題をつかむ</p> <p>◆ フィールドワーク：暮らしの課題からわがまちの課題を検討する ○ ワーク：わがまちの課題の共有とフィードバック</p>
フィールドワーク			
2	10月12日 (月) 10月13日 (火)	藤田医科大学 (オンライン 参加可)	<p>地域の課題とその解決に向けた考え方 ○ 講義：地域の課題と地域づくりの考え方 ○ ケーススタディ：けやきいきいきプロジェクトに学ぶ地域づくり</p> <p>わがまちの本当に解決すべき課題を考える ○ ワーク：課題を検討するためのアクションの検討</p> <p>◆ フィールドワーク：わがまちの課題を再検討する ○ ワーク：わがまちの本当に解決すべき課題を検討する</p>
フィールドワーク			
3	11月16日 (月) 11月17日 (火)	藤田医科大学 (オンライン 参加可)	<p>わがまちの関係者と課題を共有する ○ ケーススタディ：医療・福祉の専門職とともに考える地域医療・ 地域福祉のあり方 ○ ワーク：わがまちの課題解決に向けたアクションの検討</p> <p>◆ フィールドワーク：わがまちの関係者と対話を深める ○ ワーク：わがまちの課題と打ち手を検討する</p>
フィールドワーク			
4	12月中旬	オンライン	<p>わがまちの課題にどう向き合っていくか ○ 講義：課題解決シナリオの考え方 ○ ワーク：テーマ別・課題解決シナリオの検討 ○ ワーク：ブラッシュアップに向けたアクションの検討</p> <p>◆ フィールドワーク：わがまちの課題解決シナリオの検討</p>
フィールドワーク			
5	1月下旬～ 2月上旬 (2日間)	藤田医科大学 (オンライン 参加可)	<p>学びの総括 ○ 発表：わがまちの課題とその解決に向けて／学びの総括 ○ ワーク：最終フォローアップ</p>

※新型コロナウィルス感染症の拡大状況を踏まえて、プログラム実施方法は変更となる可能性があります。

藤田医科大学 人材教育支援センター講師陣（予定）

 都築 晃氏 藤田医科大学 講師・地域包括 ケア中核センター	 池田 寛氏 藤田医科大学 地域包括ケア中 核センター 課長	 岩名 礼介氏 三菱UFJリサーチ &コンサルティング 主席研究員	 服部 真治氏 医療経済研究 機構 主席研究員
 亀井 善太郎氏 PHP総研 主席研 究員 兼 立教大学 院 特任教授	 三原 岳氏 ニッセイ基礎研究所 ヘルスケアリサーチセ ンター主任研究員	 大野 孝司氏 NTTデータ経営 研究所 シニアマネージャー	 松本 小牧氏 豊明市 健康福 祉部 健康長寿 課 課長補佐

※上記の他、地域づくりに積極的に取り組む市町村の方、厚生労働省にアドバイザーとして参加していただきます。

募集要項

※エントリーの前に必ずお読みください。

参加対象

主参加者（全日程を通して参加いただく方。各市町村から1名）

- ・市町村職員で、高齢者支援・地域づくりに係る課題設定や解決策の推進を実行する担当者
- ・地域包括ケアに係る業務経験が1年以上の方
- ・プログラム終了後、地域づくり領域でリーダーシップを発揮していくける方

昨年は東海北陸6県限定でしたが、
今年度は全国から参加市町村を
募集します！

関係者 ※オンライン・オフラインで参加可能です。

本プログラムは実際の市町村事業の推進が目的のため、プログラム各テーマに応じて下記のような関係者が一緒に参加することが可能です。会場への同行は2名まで可、オンライン参加の場合は特に人数の制限を設けません。

例) 庁内関係者、部署上長、委託先等外部協力者（地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーター、協議体関係者、外部コンサルタント、支援人材等）

参加条件

プログラムの受講に合わせて、現場で実践を行うこと

本プログラムは市町村の地域づくりの実践を通したリーダー人材育成を目的としています。

参加者にはプログラムの受講と並行して、地域分析や関係者との対話など、現場での実践に取り組んでいただきます。

実際の事業について、各回ごとに次回までの実践課題（実践課題例：地域に出向く、関係者に話を聴く、解決すべき問題を考える、等）を取り組んでいただき、その内容に対して講師陣によるアドバイス等を行っていきます。

主参加者がプログラムの全日程に参加できること

※藤田医科大学等、オンラインで開催する回については、会場にお越しいただいての参加をお願いします。

※新型コロナウィルス感染症拡大の状況を鑑みてのオンライン参加はご相談ください。

申込方法

別添のエントリーシート（Excelファイル）に必要事項を記入の上、件名を「プログラム参加申込み【市町村名】」として、事務局アドレス（下記参照）までメール添付にてお送りください。

申込先

chikeasupport@nttdata-strategy.com

申込期限

2020年7月31日（金）正午必着

選考について

応募者多数の場合は、エントリーシートの内容を考慮し参加者を決定させていただきます。

- ・参加者本人のスキル・経験等の資質、地域づくりに対する意欲等を考慮の上選考させていただきます。
- ・組織としての参画や協力体制等についても考慮させていただきます。
- ・全参加自治体のバランス（規模や地域特性等）が偏らないよう考慮させていただきます。

参加費

無料

※旅費は、原則として市町村で確保いただきます。ただし、予算の確保が間に合わない場合につきましてはご相談ください。なお、昼食代・懇親会費は参加者によるご負担となります。

定員

21市区町村

会場

藤田医科大学（愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98）

※開催場所は変更の可能性がございます。（名古屋駅近辺）

注意事項

- ・本プログラムはZoomやMicrosoft Teams等のオンラインツールを用いて、ディスカッションや動画配信を行います。オンライン環境は参加市町村にて用意いただくことを前提としておりますが、オンライン参加の条件が整わない市町村につきましては受講環境をサポートしますので、奮ってご応募ください。
- ・プログラム内で公開された情報は、原則として市町村名を特定しない形で報告書等に記載させていただきます。その際に情報を特定する必要がある場合には、個別に相談させていただきます。
- ・プログラム内で知り得た情報や入手した著作権物の取り扱いについて、別途ご案内いたします。

問い合わせ先（事務局） **NTTデータ経営研究所（担当：斎藤、野村、岩田、大野）**

メールアドレス：**chikeasupport@nttdata-strategy.com**

TEL：03-6256-9838（直通）03-5213-4110（代表）

（月～金 9:30から18:00）